

「自分らしい生き方を送りたい！」

「田舎暮らしに憧れている！」

という理由から、近年急増している地方移住。

2023年度、こおりやま広域圏では地方移住を見据えた方向けの「地域体験ツアー」を夏ツアー3回、秋ツアー3回の計6回開催。多くの参加者がこおりやま広域圏各エリアの魅力を体験、感じていただきました。

こおりやま広域圏内での旅を楽しみながら移住に役立つ情報入手や人との繋がりも築くことができた、秋コースの1つを紹介いたします。

### ① 暮らしの中の農と花火にふれる旅【玉川村・石川町・浅川町コース】

日程/2023年10月7日(土)～8日(日) 1泊2日

#### 1日目

9:30 郡山駅発

10:10～11:30 キックオフ・さるなし生産者訪問(たまかわ観光交流施設 森の駅 yodge)

13:30～15:00 昼食(農園 Café やい子ばあちゃん)/3市町村合同交流会

15:30 民泊先にて農業体験/宿泊(堂平ガーデン・農園 Café やい子ばあちゃん)

#### 2日目

9:30 宿舎発

10:00～12:00 魔除け花火作成体験/信号雷打上げ体験(吉田富三記念館)

12:20～13:20 昼食(天麩羅まるみ)

13:50～14:20 買い物(道の駅たまかわ)

14:30～15:00 施設見学(福島空港)

15:50 郡山駅着

### 体験内容

#### ○廃校をリノベーションした交流施設で絆を深める

ツアーのスタートは明治時代に開校した小学校を当時の面影を残しながらリノベーションした、たまかわ観光交流施設 森の駅 yodge♪

ノスタルジックな建物や高台から望む開放的な里山の原風景は、都会では見ることのできない景色。今首都圏からも多くの方が訪れているそうです。



キックオフミーティングで参加者同士の交流を深めた後は、玉川の特産品さるなしの生産者さんを訪ね、摘み取り体験を行いました。

地元テレビ局のロケとも遭遇、取材を受けツアーの様子がテレビ放送で流れました。



#### ○タイムスリップ気分になれる農園カフェで移住の疑問を解決

お待ちかねの昼食タイムは石川町で人気の農園 Café やい子ばあちゃんにて。築 100 年の古民家を改装した素敵な雰囲気の中、採れたての野菜をふんだんに使った創作ランチを楽しみました。



また、その場でツアーで訪れる3町村のキーマンを交えた交流会も行います。リラックスした空間で本音を打ち明けやすく、移住への疑問や不安を解消するまたとない機会となりました

○農業体験で汗を流した後のBBQは最高！。

ランチで味わったお米の美味しさを今度は自分たちで収穫！



心地よい秋空の下、稲刈り体験で大地の恵みを感じました。手刈りで収穫した稲を昔ながらのハセかけで天日干しへ。



また、宿泊先はやい子ばあちゃんと堂平ガーデン 2ヶ所の民泊施設。ポツンと一軒家の堂平ガーデンの裏庭、焚火の中でみんなで囲む BBQ も格別でした。満点の星空にも寒さを忘れて満っていました。

翌朝は産みたての卵と、かまどで炊いたご飯の朝食。

1日で田舎暮らしがさらに大好きになった体験でした。

### ○浅川町自慢の花火の魅力を地元の人が語って実演！

2日目に訪れる浅川町の別名は“花火の里”。県内最古の歴史を持つ花火大会には町の人口の5倍以上の人が訪れます。そんな町の自慢の「浅川の花火」について、地元の方たちから特徴や歴史をレクチャーしてもらいました。



伝統の魔除け花火を実際に作成体験したり、迫力満点の信号雷（運動会等の開催を知らせる音の出る花火）の打ち上げ実演がありました。



#### ○福島の空の玄関口で移住後の暮らしをイメージ

ラストは再び玉川村へ。福島空港が位置する玉川村は福島の空の玄関口でもあり、大阪や札幌といった大都市からアクセスも◎。交通の便の良さを移住の条件に考える人にとって、重要ポイントとなる空港を見学。また、近くにある道の駅でも旅のお土産を購入しました。

石川町では農泊体験を通し、受け入れる地元の方と参加者の交流がとても濃いツアーとなりました。ツアー後にも頻繁に連絡を取っている参加者さんもいらっしゃいます。また浅川町での花火の打ち上げでは縁起物の花火のかけらを広くことができました。玉川村は丁度「さるなし」の収穫期にあたり、貴重な果物をもぎたてで食べることができました。